

ID Link クライアント証明書インストール手順 (Windows版)

2023/07/13





このマニュアルは、2021/12/13現在のWindows10（バージョン20H）の環境で作成しています。
Windows11でも同様の手順でインストール可能なことを確認済みです。
下記のブラウザで動作確認済みです。

- ・Microsoft Edge（バージョン 96.0.1054.53）
- ・Google Chrome（バージョン 96.0.4664.93）
- ・Mozilla Firefox（バージョン 95.0）

予めご準備ください

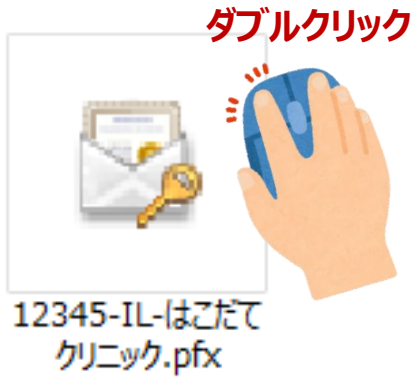
事前に、メールの添付ファイル、もしくは宅配便のCDでお送りしているTLSクライアント証明書一式をお手元にご用意ください。
添付ファイルもしくはCDの中には下記のような4つのファイルが保存されています

注) ★ID-Link URL_証明書利用★.txtは、ご参加の協議会、ネットワークの運用により、同梱していない場合があります。

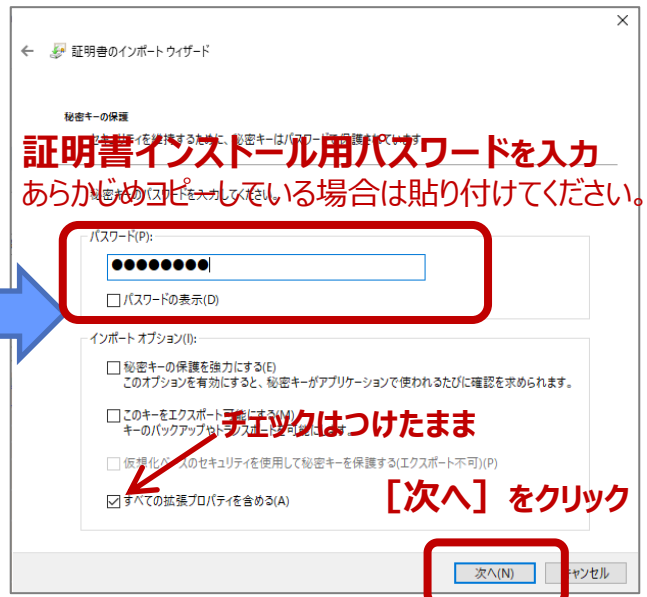
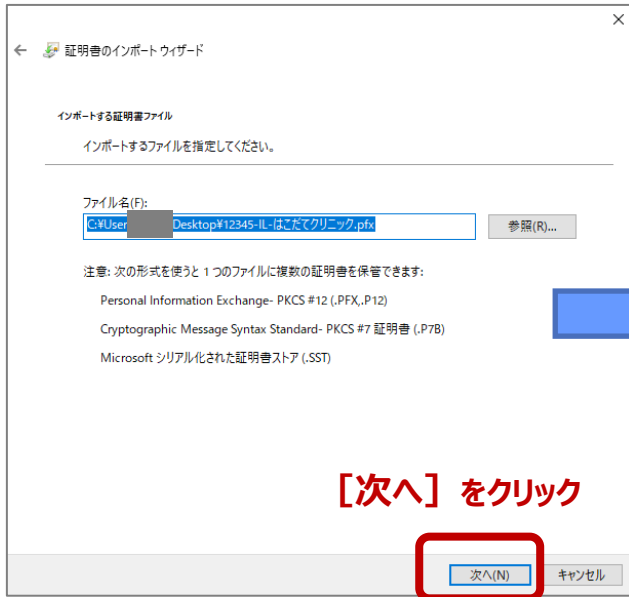
 ☆SHA2-2期分です☆.txt	送付した証明書の“期”を示しています。
 ★ID-Link URL_証明書使用★.txt	ファイルを開くとID-Linkを開くためのURLが記載されています。
 12345-IL-はこだてクリニック.pfx	クライアント証明書です。
 PW12345-はこだてクリニック.txt	ファイルを開くと、証明書インストール用パスワードが記載されています。

上記のファイルを、証明書インストールしたいコンピュータからアクセスできる場所に保存してください。
証明書インストール用パスワードをあらかじめ控えるか、コピーし、貼り付けることができるようしておく
インストールがスムーズです。

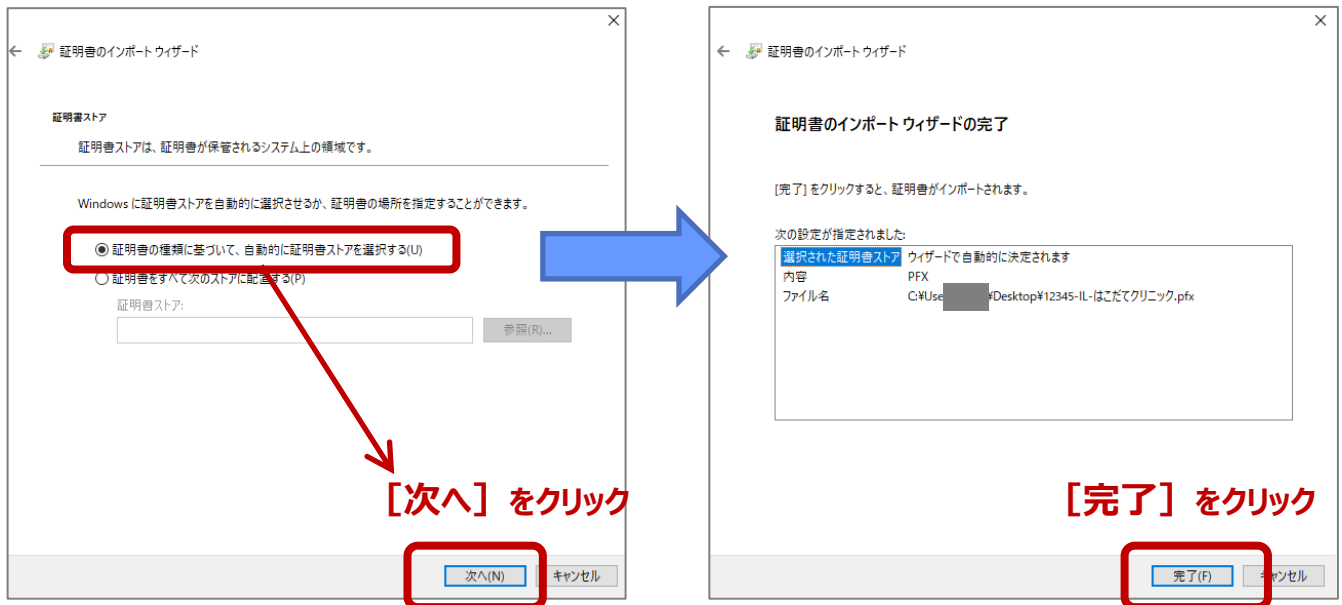
1. 証明書ファイル（拡張子pfx）のファイルをダブルクリックすると、証明書インポートウィザードが開始されますので、**【次へ】** をクリックします。



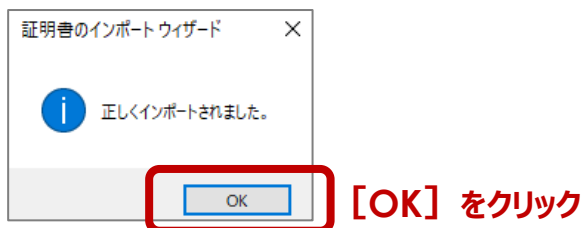
2. ファイル名に1.で選択したファイル名が表示されていることを確認し、**【次へ】** をクリックし、次に表示される画面のパスワード欄に、証明書インストール用パスワードを入力し、**【次へ】** をクリックします。



3. “証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する”にチェックが付いていることを確認し [次へ] をクリックし次の画面で「証明書のインポートウィザードの完了」の表示がされますので、[完了] をクリックしてください。



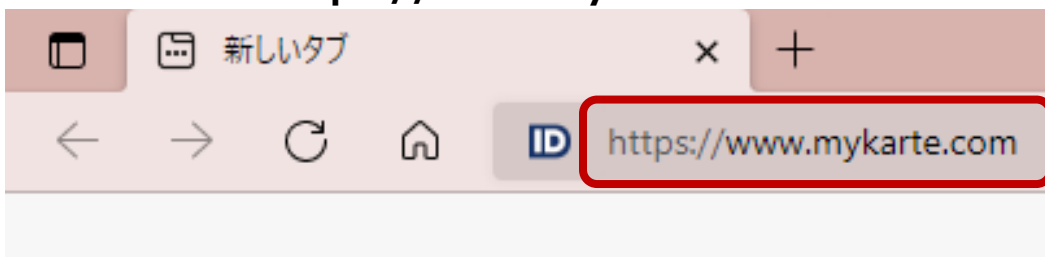
4. “正しくインポートされました。”と表示されたら、[OK] をクリックしてください



5. ご利用になる、ブラウザを起動します。



6. ブラウザのアドレスバーに **https://www.mykarte.com** と入力して、Enterキーを押してください。



7. EdgeやChromeの場合、証明書の選択画面が表示されますので、ID-Link証明書を選択し、[OK] をクリックします。



ブラウザのバージョンアップをしていない場合、証明書の選択画面が表示されない場合があります。表示されなくてもID-Linkログインページが開けば問題はありません。

8. ID-Linkのログインページ表示が成功したら、インストール完了です。

必要に応じて、ログインページをお気に入りへの追加、デスクトップへのショートカット作成をしてください。



ログインするためのIDとパスワードは、証明書と一緒に同梱している『アカウント票』に記載しています。
ご参加の協議会、ネットワークの運用により、事務局から払い出されている場合があります。

情報を参照するためには、患者の同意が必要です。

同意のルールはご参加の協議会、ネットワークにより異なりますのでご確認をお願いします。



ブラウザ：Firefoxをお使いの方は、
次のページへお進みください。

～Firefoxご利用について～ TLS1.2以上での接続 有効化設定のお願い

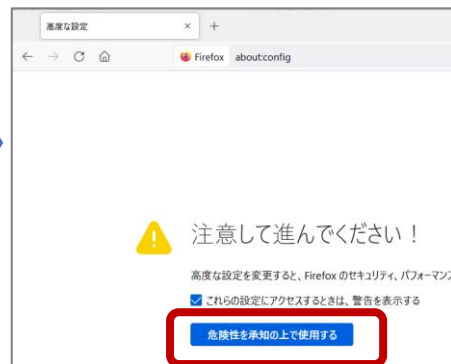
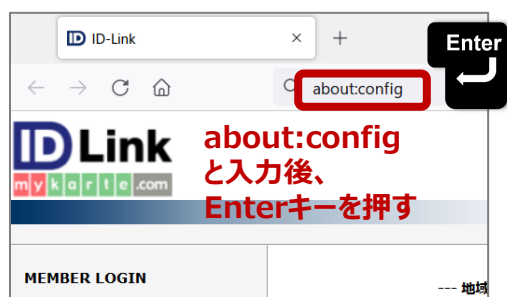
ID-Linkでは、厚生労働省発行の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に基づき、2023年12月から、ID-Link サービスセンターの設定を「TLS 暗号設定ガイドライン 3.0.1 版」に規定される、最も安全性水準の高い「高セキュリティ型」へ変更します。これによって、**TLS1.1以下のプロトコルを用いた接続を無効にします。**

Firefoxをご利用の際は、2023年11月末までに下記手順の通り、TLS1.2以上の接続のみ有効とするよう設定変更を行っていただけますよう、ご対応をお願いいたします。

(Microsoft Edge , Google Chrome をお使いの場合、自動でTLS1.2以上が有効化されますので設定は不要です。)

FirefoxでTLS1.2以上を有効にする方法

- 1.Firefoxを起動し、アドレスバーに“about:config”を入力し、Enterキーを押します。
警告画面が表示されますが、「危険性を承知の上で使用する」をクリックします。



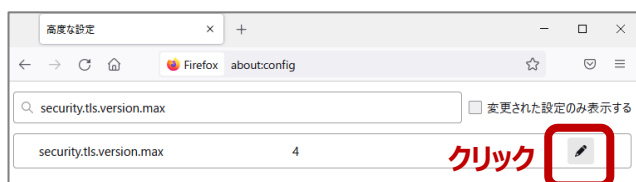
クリック

- 2.「高度な設定」画面が開きますので、設定名を検索欄に“security.tls.version.max”を入力します。

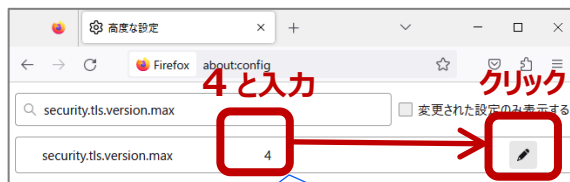


security.tls.version.max
と入力

- 3.右側の鉛筆マーク（値を変更）をクリックし、値を『4』に修正後、チェックマーク（保存）をクリックします。



クリック



4 と入力

クリック



「値」は以下を表しています。

0 = SSL 3.0、 1 = TLS 1.0、 2 = TLS 1.1、 3 = TLS 1.2、 4 = TLS 1.3
0～2が設定されている場合は、「4」に変更をお願いします。「4」に設定する事で、
今後センター設備をTLS1.3以上に変更した場合でも接続可能となります。

- 4.Firefoxを右上の“×”で閉じ、次の起動後から設定が適用されます。

改訂履歴

日付	内容
2021-12-13	全面改訂
2023-07-05	Internet ExplorerとWindows8に関する説明を削除
2023-07-13	Microsoft Edge、Google ChromeのTLS1.2以上有効化に関する説明を削除（自動的に有効化されるため）、FirefoxのTLS1.2以上有効化手順の修正